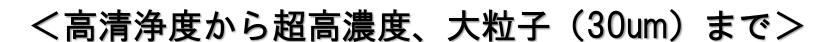


パーティクルカウンタ活用例

クリーンルームはもちろん、機械加工環境、病棟、実験環境 から南極観測船「しらせ」や、ドローンでの大気観測など、 さまざまな現場で使われるようになりました。







4月28日、2025年 水野真人 株式会社パーティクルプラス Masato.mizuno@particlesplus.com 03-6274-8308

03-6274-8308, 080-3089-2106



光散乱パーティクルカウンタ(OPC)は CR から大気まで

OPCの特徴

In situ、リアルタイム、粒子径0.3~10 µ m (30 µ m) のエアロゾルの 粒子径分布、個数濃度、変化量について多粒径・短時間情報を得られる ⇒粒子挙動の予測、発生源特定、暴露状況、除去対策に不可欠な情報

問題点

個々の粒子の散乱光強度を検出するため、高濃度エアロゾルの測定に対応が難しいと考えられてきたが、パーティクルプラスは2,500個/CC対応





OPCの測定値は信頼できる?

In Delhi, air pollution

Doi Suthep and the world air-quality index at midnight on March 13, 2019

パーティクルカウンタ



生産環境改善現場の例

環境基準の例

1: 光学部品洗浄室 クラス10000

2:同蒸着室 クラス10000

3:同基板セット場所 クラス 1000

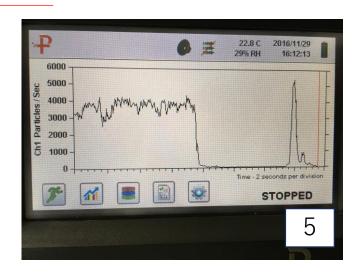
数値管理が重要

4:一般作業工程(オイルミスト監視)

5:リアルタイムグラフモードの例

使用パーティクルカウンタModel8306











プッシュプル型クリーンブースと 呼吸器ネブライザ治療の現場



金沢春日クリニック







全体レイアウト







ブース外での影響度測定

空気清浄協会研究会発表 データは内田医師発表データ を参照ください

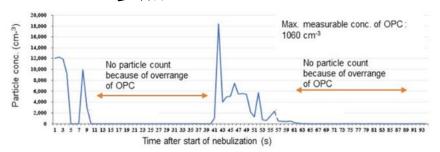


Fig.2 0.3-0.5 μm particle concentration change in a treatment room of aerosol therapy.

m

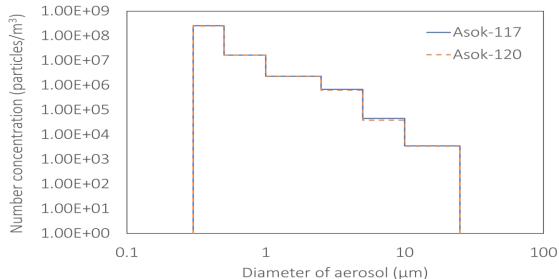


タイパンコク ASOK 交差点測定



測定値と2台の器差

Doutiele eine (une)	Number concentration of	
Particle size (μm)	particles (particles/m³)	
	OPC 117	OPC 120
0.3 – 0.5	257,125,101	249,773,459
0.5 - 1.0	16,631,369	16,584,202
1.0 – 2.5	2,322,489	2,275,708
2.5 – 5.0	683,496	629,861
5.0 – 10.0	45,698	38,563
10.0 – 25.0	3,531	3,390
Total	276,811,685	269,305,183

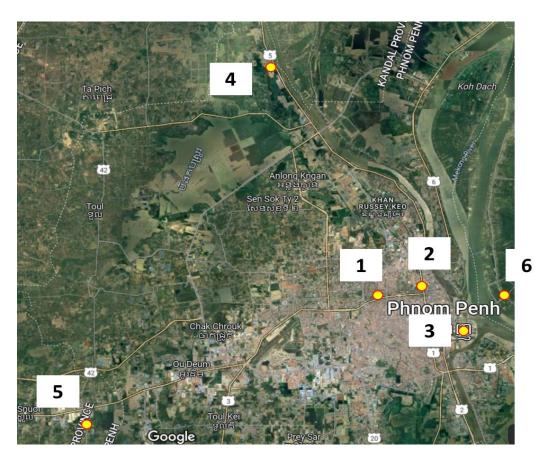




プノンペン市内大気汚染監視システム 2023年

(データは Real time PMs in Phnom Penh City でご覧になれます)

Model EM11000 < 0.3um~10.0um 30粒径区分、PM、TRH&CO2>



EM11000 市内配置図



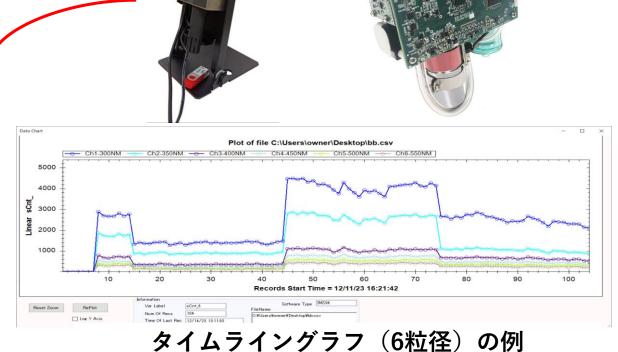
カンボジア工科大屋上にて 配置前の稼働試験





広島大学水産実験ステーション 2024年

Model 9300P 30 粒径区分カウンタとセンサ 0.3um~10.0um 最大可測濃度約800個/CC





ドローン搭載大気環境モニタセンサ

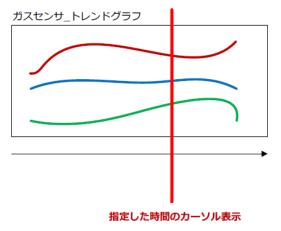


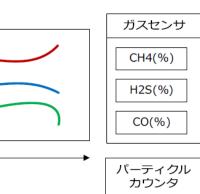
GPS

東経(°)

高度(m)

北緯(°)





温度(℃)

気圧





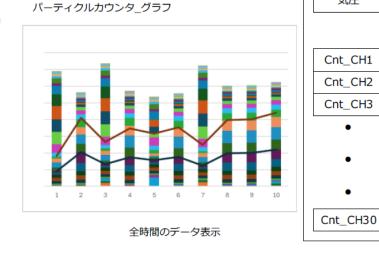


ガスセンサ CH₄ H₂S CO

オフライン 収録開始 収録停止 表示時間(スライダ) 表示時間 CSVエクス 切出し時間 ポート

センサ

ポンプ



パーティクルカウンタ 温度・湿度・粒径 $0.5~\mu m \sim 10~\mu m$, 30チャンネル



次の課題 0.3umより小さな粒子の計測

